



西塩子の回り舞台 第7回 定期公演

文政3年(1820)舞台誕生より200年

県有形民俗文化財に指定されている「西塩子の回り舞台」の第7回定期公演が10月20日大宮公民館塩田分館グラウンドで行われました。公演日直前に上陸した台風19号により、基礎材には影響はなかったものの、屋根の「こも」の大部分が吹き飛ぶなどの被害を受け、天井から空が見えるままの公演となりました。

大宮北小学校4年生児童が一生懸命練習した「口上」

や「常磐津子宝三番叟」(写真)、子供歌舞伎「白浪五
人男 稲瀬川勢揃の場」を、浸水被害を受けた皆さん
への思いを胸に、暴風雨に耐えた舞台で立派に演じま
した。会場に詰め掛けた約3,500人の観客からは、大
きな拍手や声援がおくられていました。児童や観客、
西塩子の回り舞台保存会の皆さんにとっても、記憶に
残る公演となったことでしょう。

主な内容

- P2～4 台風19号のつめあと
- P6～7 障害者週間
- P8～9 水道凍結対策
- P10 風疹予防接種の一部助成
- P11～14 まちのできごと

